熊谷市 MaaS 基本計画（案）に対する意見及び市の考え方

１　意見募集期間

令和６年１２月２０日（金曜日）から 令和７年１月２０日（月曜日）まで

２　意見の提出者数及び意見の件数

提出者数　　４名

意見の件数　　８件

３　意見の概要及び市の考え方

該当箇所	意 見 の 概 要	市 の 考 え 方
2.3 AI オンデマンド交通の適合性	事業者の関わり方について、選定方法などを記載してほしい。	システム開発及び運行等にあたっては、事業者のノウハウが必要となります。 事業者の選定方法につきましては、今後検討してまいります。
4.2.1 運転士の人手不足	自動運転の活用や電話予約の AI による自動音声応答も検討すべきである。	社会経済情勢や実施状況等を勘案しながら、検討したいと考えています。
全体	AI オンデマンドのソフトウェアを調達・開発方法について記載してほしい。	事業者選定に係る具体的な仕様につきましては、今後検討してまいります。

	1.実験期間 3年を1年にして問題点を抽出して利用地域を拡大することを早期に目指して欲しい。 2.利用料金 障害者、要介護者、高齢者等の割引を実施して欲しい。 3.サービス停留所の考え方 300メートルごとに置く地点でなく利用者宅や代表的な建物を停留場所にして欲しい。 4.ユニバーサルデザインの車両配置 車椅子に乗ったまま乗車できる車両を配置して欲しい。	1.財政負担とサービス水準との均衡を念頭に、ゆうゆうバス等の既存交通との共存・連携を図りながら見直しを進めてまいります。 2. 既存のバスやタクシーへの影響を考慮した極力安価な金額設定としており、さらなる割引は既存公共交通との競合が懸念されます。 一方で、障害者や要介護者を対象としたタクシーの利用料金の助成等を実施していることから、福祉施策との棲み分けを行っています。 3.乗合という性質を踏まえ、自宅位置などのプライバシーへの配慮やタクシーなど既存交通との差別化を図っています。 一方で、公共施設への設置や、アンケート結果、現地の状況等を踏まえた、行先となりうる施設への移動につながるよう検討してまいります。 4.上記2のとおり福祉施策との棲み分けを行っていますが、2台導入するうちの1台は、車いすの方にも対応した車両を検討しています。
	ゆうゆうバスと同様の料金設定にするべきではないか。片道300円は高すぎる。	公共交通事業者から、経営への影響を懸念するご意見をいただいたことなどを踏まえ、民業圧迫を考慮し、バスより高く設定するなど他の公共交通との棲み分けを行っています。

	バス停の公表がないため、利便性について評価できない。	一般的な徒歩圏である 300m間隔に停留所を設置するほか、ゆうゆうバスでは不可能な狭い道路の通行が可能な車格とするなど利便性に配慮しています。 具体的な停留所の設置位置については、今後検討していく予定です。
	ゆうゆうバス利用者の年齢層やどこからどこへ利用しているか時間帯などのデータをとったのか。 また、ゆうゆうバスに関するアンケートはとったのか	本計画の策定にあたり、市民の移動実態や移動に関する問題点、ニーズを把握するためアンケート調査を実施しています。
	AI オンデマンド交通の導入に際し、CO2 排出量の観点を考慮し、その他公共交通機関や、移動型スーパーなどによる不便の解消も含め、広い選択肢から最適なものを選択し、継続的に評価・情報公開してほしいです。	今後、運行距離などの利用状況を踏まえ、持続可能な公共交通の維持確保に繋がるよう検討してまいります。 また、市民の方々に対する情報の共有等に努めてまいります。